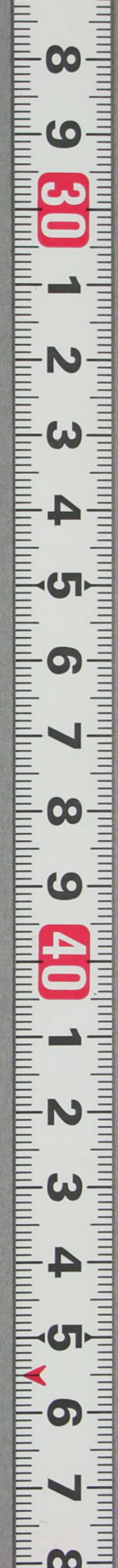




稗と山東庵京山譯  
 史と水滸傳えん四編  
 歌川國芳画  
 上卷



^ 13  
 3812  
 4



山東庵京山譯 文政丑春  
 稗史 水滸傳四編  
 歌川國芳画 上卷

寛政壬子の春京傳將繪本水滸傳再編  
 譯して大よ世に發行故今日編成補ひ画作  
 成異より新編より主殿諸賢一覽成  
 下して再評地賜ハ幸甚々 永壽堂 欽白

上巻のつたさるやどに魯智深  
 劉太公のいかにをりてをせぬに  
 わづらふ大にさう瓜をえんだけつら  
 けらうあつたが公がやうす瓜  
 ころあふふとやえんのかうろ  
 こくしてさう瓜のいあつてのさう  
 ちあんとさ瓜まきしては瓜ひひく  
 大はひひむこ瓜むさくこんまの  
 をあふんかるともやうこたてさう  
 それ瓜うまのあふひうあつていさ  
 ども太公のさうまきしてひひを  
 ちりあつて瓜のやまあふもこと  
 つらうあつて瓜のいさ





















とおろとろやごもつあやめさるが  
 くらまが金銀をうづひひら  
 村高にあるるなりあやめ  
 まちまへとく二人の  
 大玉のやもをまて  
 ふりて金さししてせ  
 ゆたろろちあん  
 つくありてくあんの  
 めのどもゆまこの金  
 せんをくくする  
 これ彼あし人の  
 こころをうづひひら  
 おらんてあんあつ  
 こころさしにゆづ  
 うれあやめあし  
 金浪をうづひ  
 とつこの山を  
 小げさるるあ  
 のくせくかどろ  
 うさんと山小



けを  
 松の本に  
 つけ  
 くら  
 金銀  
 さが  
 いじ  
 ろち  
 金を  
 くら  
 の  
 くら  
 くら



くらまが金銀をうづひひら  
 村高にあるるなりあやめ  
 まちまへとく二人の  
 大玉のやもをまて  
 ふりて金さししてせ  
 ゆたろろちあん  
 つくありてくあんの  
 めのどもゆまこの金  
 せんをくくする  
 これ彼あし人の  
 こころをうづひひら  
 おらんてあんあつ  
 こころさしにゆづ  
 うれあやめあし  
 金浪をうづひ  
 とつこの山を  
 小げさるるあ  
 のくせくかどろ  
 うさんと山小

くらまが  
 二人の  
 くらま

松壽堂藏覽略目録

|            |      |    |        |       |        |         |
|------------|------|----|--------|-------|--------|---------|
| 清懷中折本手巾向目録 | 女用文章 | 古抄 | 高麗月用文章 | 早學用文章 | 實語教童子教 | 當時那用多習物 |
|------------|------|----|--------|-------|--------|---------|

奥州松島八景之圖 唐紙一枚摺  
前北齋爲一老人筆

加目位算早割塵劫記 全一冊  
本堂藏ありわの各所より集りて其の旨を記す

繪本平家物語 松亭金水譯  
歌川國直画

分間御江戸圖 一枚摺  
新田原神社弘客の江戸の景を寫す

松壽年代記 両面摺  
裏面ハ將軍源氏代之初め法氏重宝と云ふ事あり

...



水滸傳四編

つれ戒刀がまひ  
禅杖をさげ山陣を  
とせいでけりつ  
なまら  
山坂へさか  
くれさ  
かたきつら  
ゆれあんと  
ららららららららら

史 水滸傳 下卷  
山東庵京山譯  
四編  
歟川國芳画



山東庵京山譯 文政丑春

稗史水滸傳四編

歌川國芳画 下卷



志かふるまふがけんどの山をね  
 おげさるるをまらぬ  
 むく大にこまのり  
 じろのぶけり  
 ずのちりて  
 おげ  
 さるる  
 ①  
 ②  
 鐵禪杖  
 ぶらした  
 つも戒がた  
 ぐじつけく  
 十丈あまりの  
 ぐけの志こにるげむらうつげがけぬ  
 とびんごりいづくとあるくおけらせんり  
 ○こまのまきこ桃花山をさるる二里をるりに  
 して危鐘寺とのふわれをててる大寺  
 わりこのてらもとそんせうの地るりしが  
 ちごひにすのびりくち堂をまていめ  
 てるわれをてて大るるててにころろ  
 七八人の傳すまけるがわるとた一人の

水滸傳四編

十一



されば大に多うきいなるも  
 をいれ形もやうなまことおのれ  
 わりさくぬるりかろあじも入の  
 大形勝とよのころの三入の俵ふ  
 むらひ口はれぬ五臺山の僧を  
 魚智深とよのふものあり  
 くれ今目極老山のふりてより  
 とよのころいりしうまやちやうか  
 りとちのふもやうなふうにうれ  
 ころあつれ一せんをやどと  
 五ふらうそまらふうらふうら  
 めふじしうらふとちちあふ  
 めふじしうらふとちちあふ  
 一まゆいそまらふとちちあふ  
 とよのころいりしうまやちやうか  
 りとちのふもやうなふうにうれ  
 ころあつれ一せんをやどと  
 五ふらうそまらふうらふうら  
 めふじしうらふとちちあふ  
 めふじしうらふとちちあふ



三年四月



魚智深



ついでに六はとらふては  
 つまづくとて和しあふす  
 をとらふ目をもとらふりねん  
 うらふしん太おの平とあつ  
 大してはのちとあつて二日あつて  
 わささつてははつてつりて  
 むんぢうまをばあつて  
 ことねをわさつてあつて  
 つけつりひねまづつり  
 めねひねまづつり  
 ことつりあつてつり  
 つりてつりてつりて  
 とつて二人のつりものあつて  
 ことつてつりてつりて  
 ことつてつりてつりて  
 大おつりつりてつりて  
 につりつりつりつり  
 がつりつりつりつり  
 おつりつりつりつり



魯知深徳



鉄弾杖をひらきけり  
 かこといふ  
 これかゝるに













松壽堂藏版略目錄

美艶仙女香  
黒油美玄香  
一包四十八文  
坂下氏精製

地本錦繪問屋  
江戸兩國吉川町

大黒屋平吉

三芝居  
役者  
聲  
早合点  
徳升作  
似顔画入國貞画

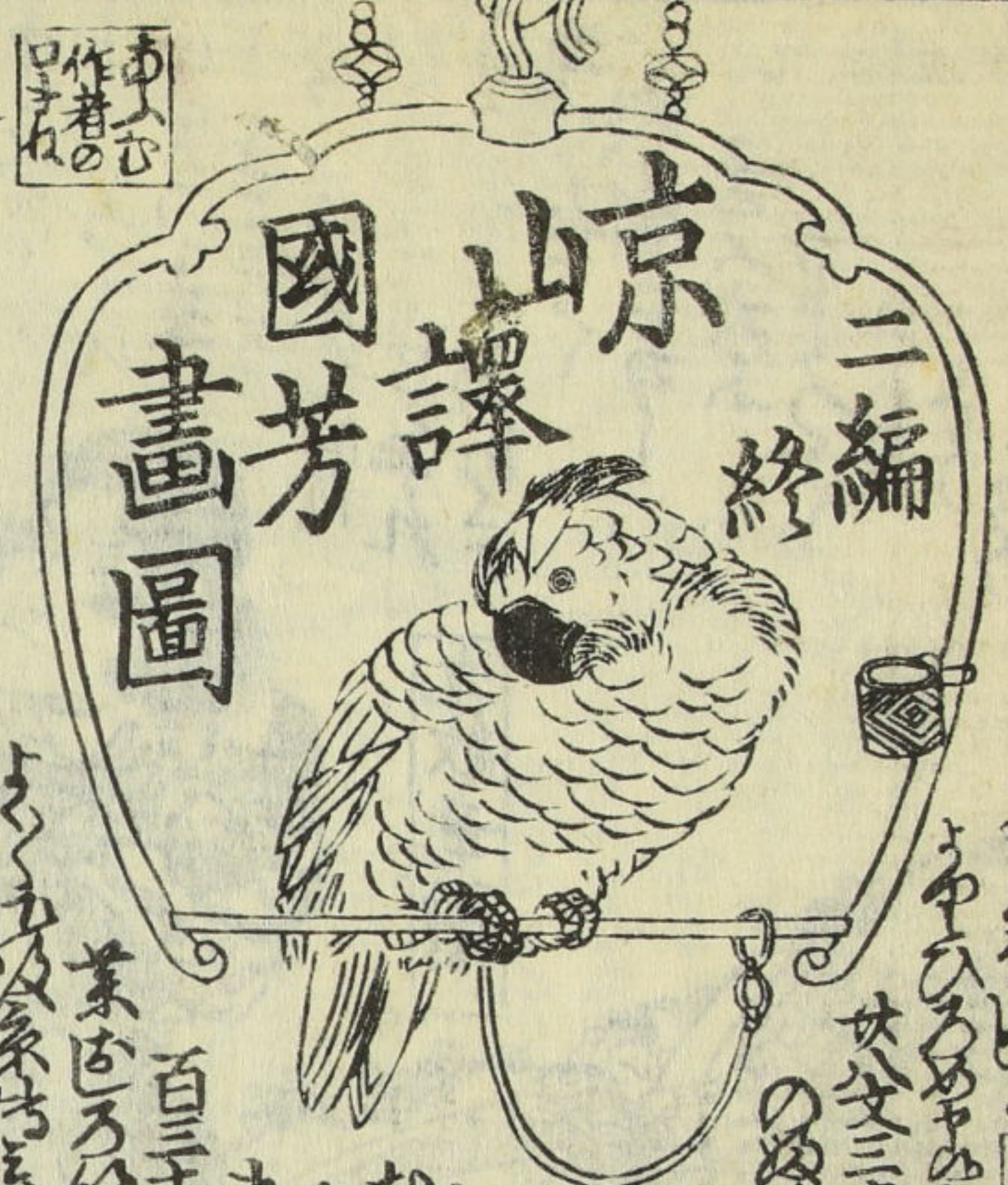
仙果作  
國芳画

天保大雜書  
万々曆

此書の人間一書を生れ集り  
神徳ありて是を延命の巻を  
男女相性之相万年曆の巻を

風俗金魚傳  
曲亭馬琴作  
歌川國直画

魚子考公天通ト一ひ患苦  
あつたのふもはひふ果と  
ううの金のふふふふふ  
編りては切は致らぬ板仕



この書のちのり... 西村与八板... 一頁三十二... 奇あつたのり... 京山とて... 自画... 京山とて... 自画... 京山とて... 自画...

此の書は... 京山とて... 自画... 京山とて... 自画... 京山とて... 自画...



